



白樺プロジェクト / 第1回サイエンスカフェ at 北海道大学総合博物館・休憩室

「野球道具のモノづくりと、道産カンバ材の可能性を考える」

野球では、様々な道具が使われますが、生物由来の材料が用いられているおもな道具に木製バットとグラブがあります。どちらも高度な技術を有する職人が製造しています。継続的な道具作りには、資源の安定供給と製造技術の継承、そして選手が求める性能を有していることが重要になります。

今回のサイエンスカフェでは、職人の地位向上を目指した野球道具の普及活動を行う(株)ONE4ALLの松坂恭平CEOに(野球)道具の製造工程、性能と野球業界の現状について解説してもらいます。

また、近年バットの原料として北海道に広く自生するダケカンバが注目されています。木材研究者が北海道産材の野球道具への利用の可能性についても話題提供します。

わからないこと、聞きたいことを、くつろいだ雰囲気の中で皆さんと一緒に話し合いたいと思います。

場 所：北海道大学総合博物館1F休憩室

(正面玄関を右、ぼらすの隣奥) 札幌市北区北10条西8丁目 [Map▶](#)

日 時：2月26日(水曜日) 19:00～20:30

●北海道大学総合博物館は、当日も通常通り17時に閉館し、正面玄関が施錠されます。
解錠のためのスタッフを配置しますので、18時20分以降に正面玄関からお入りください

参加費：無料(※ただし、隣接する、「ミュージアムカフェぼらす」でワンドリンク以上のご注文をお願いします)

(ソフトドリンク:400円～450円、アルコール:450円～550円、
その他、おつまみ、軽食もオーダー可能です)

募 集：約40名

事前申し込み制 2/23(日)締切 / 参加申し込み [フォーム▶](#)
<https://form.run/@sirakabapj-sciencecafe20250226>

予 定

19:00 始まりのあいさつ

19:05 ▶ **話題提供1** 北大研究林のダケカンバを使った硬式野球用バットについて
北海道立総合研究機構林産試験場 秋津裕志

19:20 ▶ **話題提供2** 国産野球グラブと国産木製バット (株)ONE4ALL 松坂恭平

19:40 対談 秋津 × 松坂 × 参加者

20:20 終わりのあいさつ

20:30 終了



プロフィール

松坂恭平

東京都出身

(株)ONE4ALL 代表取締役CEO



小学1年生から野球を始め、高校まで投手として活躍、大学は法政大学に進学し、東京6大学リーグで投手として活躍するが、けがの影響で3年生から外野手に転向。

卒業後、スポーツ用品メーカーに就職し、その傍ら、社会人クラブチームやプロ野球独立リーグでも野球を続ける。2023年にスポーツブランドの製造販売を手掛ける「株式会社ONE4ALL」を設立。同年に自社ブランドの「ONE OF THE ANSWER」を立ち上げ、2024年には「HAKUSOH BAT JAPAN」のブランドディレクター、セールスマネージャーを兼任。実兄はプロ野球、MLBで活躍した松坂大輔氏。

株式会社ONE4ALL

「スポーツを通じて、豊かな社会を創りたい。また、スポーツ用品および野球用品を通じて、日本のモノ作りの原点を見つめ直し、職人さんの地位向上と品質と価格にこだわったグラブを提供したい」という理念で設立された。

HAKUSOH BAT JAPAN

日本の伝統的なバットづくりと野球の本場アメリカでの考え方を融合した唯一無二の木製バット専門メーカーとして選手一人一人にとって最適なバットを届ける。

2024年NPBの公認バットメーカーに登録。